

私たちは「よりよい学童クラブ」を目指して活動しています

## CONTENTS

# 連協ニュース

西東京市学童クラブ連絡協議会

2005/No.

5

ブログのURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

## こどもまつり大成功!!

去る11月3日に谷戸小学校におきまして、第5回学童こどもまつりが開催されました。

当日はお隣のいこいの森公園の記念式典と重なったこともあり、例年にも増して多くの方にご来場いただき、おおよそ1200名の参加がありました。

お天気の方も、閉会間際に多少雨が降ってきましたが、その雨もすぐに上がり何とか最後までもってくれました。

開会式には坂口西東京市長を始め、こどもまつりの後援にご助力いただいた西東京市役所の各部署の皆様方、今回の会場としてお世話になった谷戸小学校の校長先生並びに副校長先生にもご出席いただき、みどり学童クラブの児童による開会宣言の後まつりがスタート致しました。

そして子ども達の参加による、〇×クイズ大会が全体レクリエーションとして始まりました。かなりぎりぎりになって企画したので、果たして上手く進行するかどうか正直不安だったのですが、参加人数も予想を大きく超え、かなりの盛り上となり、初めての試みとしてはまず良かったと思います。

初の試みということでは、今回初めて2部形式という形を取りました。どうしても模擬店に比重が偏ってしまう傾向が強かったという点も踏まえ、多くの子供達が参加できる企画ということで2部構成という形を試みてみました。来年以降検討すべき点は多くあるとは思いますが、とりあえず参加した子ども達は楽しそうだったので、初回にしては及第点かなと思っています。



そして、その後いよいよ各学童クラブの父母、指導員の先生方が工夫を凝らした模擬店がスタートしました。焼きそばやスバゲティー、お団子に駄菓子、様々なゲーム、工作の教室、去年はなかったフェイスペイントの屋台など、本当にそれぞれの屋台とも随所に工夫のあとが見られ、店の前には行列ができ、お客さんはそれぞれのものを楽しんで頂けたようです。西東京消防署の方にも、消火器を使った的当てゲームを昨年同様開催していただき、こちらも開始当初から大人気でした。

連協OBブースの焼き芋なども人気があり、焼き上がりまで1時間待ちなどまつり後半にはかなり各ブースで完売が相次ぎ、もう少し全体の量を増やしても良いのかなと思いました。これも来年以降の検討課題です。

全体としては、とにかく大きなトラブルもけが人もなく、来場された皆さんに楽しい時間を過ごしていただけたことは主催者側として大きな喜びです。このまつりを一緒に作りあげてくれた各学童クラブの皆様、指導員の皆様、後援していただきました西東京市役所の皆様、西東京消防署の皆様、会場を提供いただいた谷戸小学校の皆様、そしてつたない委員長を支えてくれた実行委員会の皆様方、全ての人に感謝いたします。ありがとうございました。

(文責 実行委員長 佐藤文俊)

## 10月定例委員会報告

10月17日に保谷障害者福祉センターにて第4回の定例会が開かれました。

主な話題や報告は以下のとおりです。

- ・開催まで一ヶ月を切った学童こどもまつりについての話が佐藤実行委員長からありました。また、地元のFM局“FM西東京”に佐藤委員長が出演しこどもまつりの宣伝をすることが決まり、その告知をしました。

- ・対市懇談会に向けて、児童課に提出する要望書についての審議があり、出席者の挙手多数にて要望書(案)は承認され、正式に要望書として翌週に児童課に提出されることになりました。

- ・今後の学童関連の行事についての以下の通りお知らせをしました。

10月23,24日 「全国学童保育研究集会」

12月17日 「第2回会長会」

1月29日 「子ども文化フェスティバル」

2月26日 「三多摩研究集会」

また、三多摩連協が9月に都知事に提出した「2006年度の学童保育予算編成に関する要望書」についての説明をしました。

各学童からの報告では、保護者会についての予定などが報告されました。また、バスハイクが今年中止になってしまったという学童があり、皆さんからの話を聞いてみると、どうやら、予算の関係でバスハイクは1年おきに行われるようになったということのようです。

その他に学童ほいく誌購読のお勧めなどがありました。

## 対市懇談会速報

11月18日19時より田無庁舎5階の会議室にて対市懇談会がありました。坂口市長は直前までご出席の予定だったそうですが、残念ながら他の会合の予定が延びてしまい、出席されませんでした。しかしながら、尾崎児童青少年部長、中山児童課長他、児童課職員の方と数名の児童館館長が出席されました。各学童の父母会からは34名の出席がありました。懇談会は要望書と回答書の文章にそって進められ、来年度の全員入所も確認されました。(詳しくは別添の要望書と回答書をごらんください。)

また父母からの多数の質問・意見が出され、会議は2時間の枠一杯で行われました。



## 三多摩研究集会ニュース

今年度の三多摩研究集会は西東京市での開催が決まっています。三多摩学童保育連絡協議会や三多摩研究集会のことを理解していただくために、数回連載していきます。

### 第2回 三多摩研究集会ってなに？

三多摩連協では毎年2月に研究集会を行っています。今年で18回ですが、途中やらない年もあったので18年前からということではないようです。

毎年参加者が増え続け、10年前保谷市で行われたときは80名程度だったそうですが、去年は310名になりました。

午前中は全体会が行われ、講師による記念講演は毎年、感動につつまれます。

午後からは11ほどの分科会に別れ、それぞれのテーマにそって学びあいます。

さて今年度は西東京市での開催です。いままでにない画期的な研究集会(もしかしたら名前も変わる?!)

にしようとして事務局総出で取り組んでいます。

詳しい内容は来月号の連協ニュースにてお知らせします。

### ★三多摩研究集会に参加しよう！

今年度は西東京市での開催です。下記の通り行いますのでぜひご参加ください。また各父母会にはお手伝いをお願いします。

日時：2006年2月26日(日) 10時～16時

場所：田無市民会館

参加費：無料(1500円ですが、連協が負担します。)

西東京市からの参加人数目標：200名！

めざせ、参加者 400名！

全国研究集会に行つて・・・

10月22・23日、神奈川県で第40回全国学童保育研究集会が行われました。40回の記念大会に全国から5000名以上の父母と指導員が集まりました。

初日はパシフィコ横浜で全体会が行われました。山本会長の基調提案のあと、保護者の立場として鈴木さん、指導員の立場として山本さんが特別報告をしました。特に北海道の鈴木さんの報告は胸を打つものがあり、会場にいた全員が涙、涙でした。その後、作家の重松清さんの記念講演が行われました。重松さんのお子さんも学童っこということで、子どもの放課後の過ごし方についてとても興味のある講演でした。

全体会が終了後、恒例の三多摩連協懇親会が行われました。懇親会には毎年、三多摩の人だけでなく色々な県の人に参加してくれていますが、今年は北海道、秋田、宮城、京都、山口と例年になく多くの県から参加があり、京都県連会長の手品も飛び出して、とても楽しい懇親会になりました。

2日目は二つの会場に分かれて41の分科会が行われました。参加者からの感想です。

★【第8分科会 全児童対策】に参加して  
川崎市の「わくわくプラザ」、品川の「すまいるスクール」の例が報告されました。

両地域とも全児童対策の増加に伴い学童クラブが全児童対策に吸収されてしまいました。報告では「遊び場」の全児童対策と「生活の場」の学童クラブの違い。来る子が毎日変わるので友達・仲間意識が薄い。スタッフの指導に一貫性がない。継続する遊びができない。学校外に遊びに出られないので児童館行事にも行けないなどたくさん問題点が出されました。

この後、質問・意見・討論などがされ、全児童対策は学童の代わりにならないということが良くわかりました。また、学童クラブと全児童対策は全く別の物と位置づけそれぞれが充実に向け行政に訴えていく必要があります。そのためには、私たち保護者が



神奈川の子どものための歓迎行事



学童クラブやその必要性をより一層理解して違いをはっきり説明できるようにしておく必要があると感じました。

★第12分科会【学童保育施策をめぐる動きと改善運動】に参加して

「三位一体改革」による自治体財政の危機と「自治体民営化」を促進しようとする流れの中で、市町村レベルにおける父母会などの組織づくりと改善運動をどう進めていくかが最大の課題となっています。参加者全員が自己紹介をしながら、自分の地域の自治体施策をめぐる、現在起きているさまざまな問題点を発表し多かった課題を取り上げて意見交換をしました。

まとめとしては、

- ①市町村合併…それぞれ合併前に要望しておく。組織の形態も違うだろうが当事者の話をよく聞いてもらうことが大切。
- ②指定管理者制度…現在公設民営の場合はいずれ導入されるのでしっかり考えていくことが大切。
- ③設置基準・運営基準…実態とかけ離れ過ぎている基準を作成することはかえって危険。地域性に合った個々の要望から検討して作成する。基準は難しいが、施設に関してのガイドラインなどは作りやすいのではないかと。

合併問題でいきなり前振りもなく西東京市の合併前後の経過を事例報告するように指名され焦りました。参加者が問題提起し、別の参加者が事例報告し、世話人がアドバイスをするという形式だったので、いろいろな意見が活発に交わされ時間が足りないくらいでした。また、課題項目を一点に絞らず討論されたので得をした気分になりました。

来年は愛知県、そして再来年は東京を予定しています。ぜひ参加して、一緒に感動を！！

## 情報コーナー

## ★会長会

日時：2005年12月17日（土）19：00～

場所：田無イングビル 3階 会議室

終了後、懇親会を予定していますので、そちらにもぜひご参加ください。

## ★次回定例委員会

日時：2005年12月17日（土）19：00～

場所：田無庁舎202・203会議室

終了後、懇親会を予定していますので、そちらにもぜひご参加ください。

## ★連協ブログができました。

ブログを作りました。インターネット上の日記が発達したものの。ホームページより簡単に更新ができます。今後、定例会の開催などのお知らせはブログで行いますので、そちらにアクセスしてください。

ブログURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

## ★連協ニュースのカラー版が出来ました。以下のサイトから！

<http://www.tonpo.net/gakudou/>

## 『日本の学童ほいく』を読んで

「岸元さんのカメラでこんにちは」というコーナーがあります。

このコーナーでは子供たちの学童ですぐ姿が掲載されていますが、全国には色々な学童があるのね～というのが実感です。

11月号では川崎市のなごみ中野島学童ホールでした。市から補助金をうけて運営していたらしいのですが、市の方針変更により、補助金が支給されなくなり、法人からの借入金と保護者の負担金でやりくりしているとのこと。私たち保護者は、自分の子が通う学童のことしか知らないということが多く、それがあたりまえになっています。こうやって運営している学童もあるのですよね～

行政にまかせっきりでなく、私たち保護者が学童について考えていかないと、いつかは補助金すらなくなってしまうということもあるのではと思います。

忙しい、それどころじゃないのよお～ってという保護者のかたの気持ちもわかるわけで、（実は私もそのひとりでした）

でも、学童が無くなる可能性はないとは言えないと思うわけです。西東京市では年間ひとりあたり30万以上費用がかかります。そのほとんどを保護者が負担して運営している学童もあるということです。

私たち保護者がそういうことに無関心では、この先どうなっていくかわからないよね～って思いました。

（事務局員 片井木）



## 「日本の学童ほいく」

購読料：3960円（一年間） 今からですと月割りで購読できます。

お申し込み <http://www.tonpo.net/gakudou/> 又は各父母会連協担当まで

## 事務局ニュース

◆今年も対市懇談会に市長が出席できなかった。新しい市長になって、ちょっと期待していたのだけれど、残念！

◆今年の三多摩研究集会は歴史的な会になります。「さすが事務局長を出しているところの研究集会だ！」と言ってもらえるよう、がんばろう！

◆毎日のように、中高生の信じられないような事件が報道されている。いったい子どもたちはどうなってしまったのだろうか？私たちの育て方が悪かったのだろうか？自信をなくしそうな今日この頃。

（菊池）

発行：西東京市学童クラブ連絡協議会

住所：西東京市柳沢2-8-10-108 TEL 0424-67-1883

発行者：田中 謙（会長）

発効日：2005年11月19日

編集：菊池 田中 伊藤 永井 古谷 松本 加々見  
宮下 熊田 佐藤 片井木 小泉 他

メール：[renkyo@tonpo.net](mailto:renkyo@tonpo.net)

メーリングリストもあります。下記ホームページから申し込んでください。

<http://www.tonpo.net/gakudou/>